賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL CENTER
Jesus band 社会福祉法人・学校法人 イエス団
Volunteer 2013年7月 vol. 102
ボランティア

賀川記念館の「隣保事業」

1956（昭和31）年賀川豊彦献身50年を記念して、イエス団発祥の地に賀川記念館を設立することが決議された。そして、多くの協力者と共に諸々の困難を乗り越えて1963（昭和38）年に賀川記念館（旧館）が完成し、賀川豊彦の開拓的精神を継承することを志して、地域福祉センター（隣保事業）としての活動を開始した。

その後、賀川記念館は、学童保育（神戸市第1号）を始め吾妻福祉会（自治会）、吾妻ときわ会（老人クラブ）を結成。学童保育に障がい児を受け入れ、老人給食サービス（神戸市第1号）を行うなど、地域において先駆的、開拓的な取り組みを行ってきた。阪神淡路大震災の時には、救援対策本部を賀川記念館内に設置、多数のボランティアを受け入れ救援活動を行った。また、かがわオモニハッキョ（在日高齢者識字学級）の開講や特別養護老人ホーム設立（真愛ホーム）を通し、在日外国人問題や高齢者福祉にも深く携わってきた。

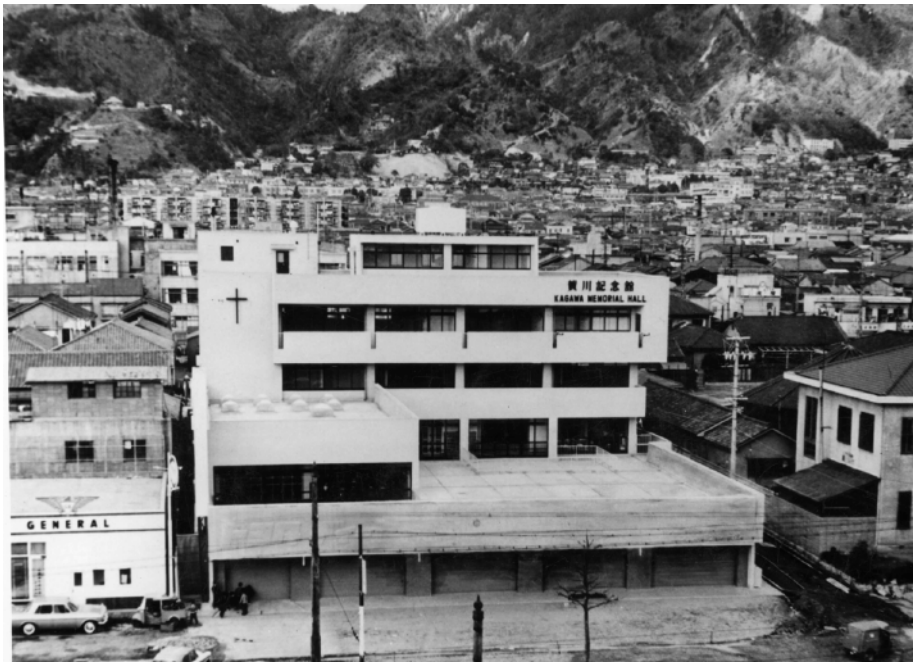
賀川記念館（旧館）を建てるとき、賀川豊彦は「記念物的建物は要らない」と言われた。そしてその意志を受け、ただ単に賀川を回想し、記念品を陳列する建物ではなく、賀川の精神を受け継ぐ場であることをめざして賀川記念館は建てられた。

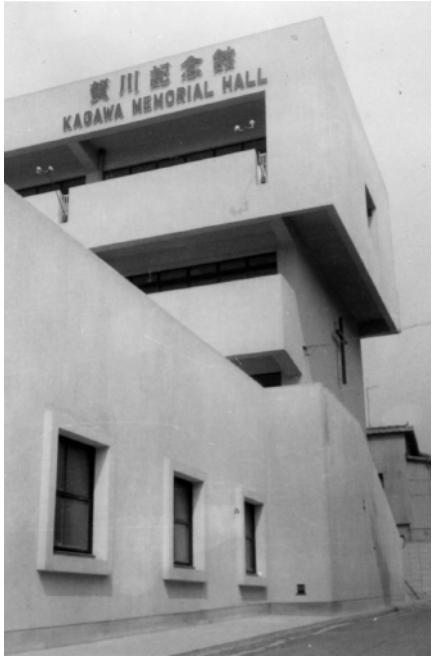
さらに賀川は「セツルメント事業の根本原理は、人格交流運動である」と断言された。賀川記念館の第一の使命はこの原理を徹底することであった。

また、賀川は常に社会事業における開拓的役割を果たしてきた。賀川記念館の第二の使命は社会事業における臨床的・実験的役割を思い切って引き受けていくことであった。

2009年「賀川豊彦献身100年記念事業」として新たに建てかえられた現賀川記念館は賀川豊彦を通して歴史を振り返り、現代を学べるしくみを“ミュージアム”としてしつらえ、その時々の課題を知り、学び、実践できるように“総合研究所”を備えた。しかし、なおこの時代にあって、もう一度、賀川記念館設立時の二つの使命を確認し、「地域福祉」の業を推進していかねばならない。そして、「セツルメント」の精神を再度確認し、現代における「隣保事業」を模索し、その理念を再構築し、実践していくことが求められている。

副館長　馬場一郎





1963（昭和38）年に賀川記念館（旧館）が完成し、隣保館としての活動を開始しました。そして、賀川豊彦献身100年記念事業として、2009年12月に現在の賀川記念館が建てられました。（写真は、いずれも旧館）

友愛幼児園と児童発達支援事業の取り組み

児童発達支援事業「くっく」を昨年８月から開設し、就学前の子どもたちのケアを行っています。「小学校に入る前の段階で少し気になる子どもたちのケアをお母さんといっしょにしていきたい」ということが、そもそものスタートでした。

保育園の子どもたちのなかにも、ちょっと気になる子どもがいます。専門の先生に保育園での様子をみてもらったり、お母さんと話をしたりしながら、その子に合った形で保育園の時間の合間に「くっく」でケアを受けています。小学校に入る前にそのことを少し意識し、その弱い部分に取り組むことは、とても重要だと思っています。小学校に入ると学習が中心になり、授業を静かに聞いて勉強するということが必要になってきます。保育園の生活からみると大きな違いです。誰でも弱いところを持っていますが、そのことをお母さんや小学校の先生も理解してくれて、その上で小学校に上がれたら、いいなあと思います。

４月に新しいお友達を迎え、もう３か月になり、お友達もやっと慣れてきたようです。これからも友愛幼児園と児童発達支援事業「くっく」の関係を密に子どもたちのより良い育ちをサポートしていきたいと思っています。

英語クラス on サタディ

天国屋カフェでは、４月から毎週土曜日のランチタイムに、英語会話レッスンを開講しています。天国屋のお昼を食べながら、食卓を囲んで英会話を楽しみながら学ぶプログラムです。

費用は、1,000 円。これは、ランチ代 500 円が含まれています。
あなたも参加しませんか？　土曜日のランチタイムにお越し下さい。

外国にルーツを持つ子どもの学習支援教室「はいず」実施報告

前回の「ボランティア」101 号でも少しご紹介させていただきましたが、4 月 19 日より「神戸定住外国人支援センター」と「神戸市中央区社会福祉協議会」の協力のもと、外国にルーツを持つ小学生を対象とした学習支援教室「はいず」の取り組みが賀

川記念館でスタートしました。

スタート当初は３名（国籍は中国、アフガニスタン、パキスタン）の申し込みがあり、学年は１年生２名、２年生１名の子ども達に対し、神戸で公立小学校の教師をしておられた先生を中心にボランティア４名が加わり、学習支援にあたっています。また参加者の保護者からも日本語学習のお申し出をいただき、保護者の日本語学習も始まりました。子ども達への学習内容は、ひらがな、カタカナを中心とした日本語の勉強や、小学校で習う算数、国語、宿題なども一緒に取り組んでいます。

この取り組みをご理解いただいた地域の方々やボランティアとしてお申し出くださった方々に感謝申し上げます。これからも「はいず」の子ども達が日本での生活を思い切り満喫していけるように支援者、地域の方々と共に取り組んでいきたいと思いますので、皆さんあたたかく見守っていてください。

天国屋カフェの通常営業は
毎週：木・金・土 11 時から 16 時まで
ランチ：500 円　コーヒー・紅茶：250 円
オリジナルケーキ：200 円

賀川記念館語り部２期生が活動開始 !!

賀川記念館の仕事の一つに、来館者に賀川豊彦についての説明をしたり質問に答えたりする事があります。団体で来られる方が年に2～30組有り、その団体に60～90分のまとまった説明をする講演のような方法（写真右：講演の様子）と、個人や少人数で来られて展示を見られるグループに展示を見ながら説明をする方法、また、1909年に初めて住んだ6畳の部屋や地域の人達のために作った無料診療所など、賀川がこの地で活動した足跡を10カ所程歩いて回りながら説明する賀川ウォーク（写真下：賀川ウォークの様子）というやり方が有ります。いずれも賀川豊彦の人柄や業績についての豊富な知識が必要になります。

現在22名の語り部ボランティがおられ、そのうち13名がこの賀川記念館が2009年に開設した当初からの第1期生です。

新たにこの4月から第2期生9名が参加して頂いております。

既に4月から、賀川豊彦について勉強を始めており、来年の4月からの独り立ちに向けて、資料の読み込みをスタート致しました。どうぞご期待下さい。

＊＊＊見学申込をお待ちして居ります＊＊＊

＜語り部発表会＞

13 名の語り部第 1 期生が賀川豊彦が行って来た様々な事業について 1 年にわたってグループで研究をして来ました。その発表会を賀川豊彦の誕生日であります 7 月 10 日に賀川記念館で 10 時～12 時迄行います。ご参加は賀川記念館までご連絡ください。多くの皆様のお越しをお待ち致します。

研究項目は 6 項目
（産業組合、協同組合、農民組合、生協、平和運動、労働運動）

賀川豊彦召天 53 周年記念墓前集会

『イエスに倣(なら)って生きる』　奨励　平田 義さん（社会福祉法人・学校法人イエス団常務理事）

賀川豊彦召天53周年記念墓前集会が2013年4月20日（土）、神戸市舞子墓園にある賀川記念納骨堂前で行われました。

墓前集会を共催した、コープこうべ、神戸YMCA、イエスの友会神戸支部、神戸イエス団教会、社会福祉法人・学校法人イエス団、甲子園二葉幼稚園、一麦保育園、神視保育園、天隣乳児保育園、みどり野保育園、のぞみ保育園、杉の子保育園、神戸高齢者総合ケアセンター真愛、友愛幼児園、コア100賀川、賀川記念館をはじめ多くの方々が集り、召天53周年を記念して平田　義さん（社会福祉法人・学校法人イエス団常務理事）から『イエスに倣って生きる』と言うテーマで奨励をいただきました。

平田さんからのお話は、聖書にあるベテスダの池のお話をベースにして、賀川が示している「イエスに倣って生きる」生き方を示さ

れました。ベテスダの池はエルサレムの神殿内にある。池に風が吹いて水面が揺れる瞬間に入水したものが癒されると言われている池です。イエスに出会った38年間寝たりの病人もそうでした。

時は一年でも最も多くの巡礼者が訪れる過ぎ越の祭り。ユダヤ人は神殿で賛美し礼拝を捧げることを一番の目的として神殿を訪れるのです。ところが、イエスが足を運んだところは、神殿の礼拝をする場ではなく、病を患う人々の集まるベテスダの池でした。平田先生は、このイエスの行動がとても大切だと強調されました。神からもっと遠くはなれた場所にいる人々のところにこそ、イエスは足を運ばれます。われわれも倣うべき道なのです。

準備及び当日のお手伝いでご協力いただきました方々やご参加いただきました方々に感謝致します。

総合研究所プログラムの報告

「外国にルーツを持つ子どもを育む地域の力」

４月６日(土) 小島 祥美　愛知淑徳大学准教授

今回は、賀川記念館において「外国にルーツを持つ子ども達への学習支援事業」開催にあたり、当館関係者や地域の方々とこの問題を共有し理解を深める目的で、外国籍児童との出会いを通して、多文化共生の社会づくりの活動を実践されておられる愛知淑徳大学の小島祥美先生をお招きし、「外国にルーツを持つ子どもを育む地域の力」と題して講演していただきました。

お話の内容は、外国にルーツを持つ子どもの抱える課題、教育環境の実態、そして、これまで岐阜県可児市などで行ってこられた地域での実践やプレスクール（小学校入学前の日本語が理解できない外国籍等の子ども達が、入学した小学校で戸惑うことなく早期に学校生活に適応できることを目的とする学習の場)、学習教室などの取り組みをご紹介いただきました。

日本にいる外国籍児童には就学義務が無く、学校へ行っていない子どもたちがおり、また学校へ行っていても居場所がなく中退する子ども達や進学することをあきらめてしまう子どももいるとのこと。このような、在住外国人児童の不就学問題を小島先生が取り組むようになったのは、以前公立小学校の教諭をしておられた際に出会われた東南アジアや南米の児童、また阪神淡路大震災の直

後から被災外国人支援をされておられた際の不就学児童との出会いがきっかけとのことでした。不就学児童を「社会から見えない子ども達」とおっしゃったことは非常に衝撃的でした。

以来、行政への働きかけからはじまり、実際ご自身で地域の実態調査を行い、学習支援や就学に至るまでの長く険しい取り組みのお話はただただ驚くばかりでした。そんなバイタリティ溢れ、エネルギッシュな行動力をお持ちの小島先生のお話のなかで何よりも興味深かったのは、対象の児童だけではなく、その保護者も巻き込み、また地域と共に支援していく枠組み作りが最も重要とのメッセージでした。そのことにより、外国にルーツを持つ方々が、閉塞感を持たずに日本で暮らしていく社会づくりにつながると締めくくっておられました。

このような小島先生の取り組みが、日本社会においてあたりまえの取り組みとなるように、賀川記念館も微力ながらこの問題を支援していきたい。是非、ＨＰなどで小島先生のご活躍などをご覧いただけたらと思います。

「死に逝く人に寄り添って ～祈りの音楽にのせて、リラ・プレカリア（祈りのたて琴）の働き～」

５月25日(土) キャロル・サック

キャロル・サックさんは日本福音ルーテル社団の宣教師。日頃より、たて琴を通して病床の方々を訪れ、ハープと歌による祈りを届けておられる。

賀川記念館の公開プログラム「現代社会とキリスト教～死と向き合う第 1 弾～」において、このたて琴の祈りの働き（ラテン語で、リラ･プレカリア）を歴史的に紹介し、

今日の社会での働きの意義を語ってくださった。

これは、今に始まった働きではない。少年ダビデがサウル王の癒しのためにたて琴を奏でたことが聖書に記されているように、聖書の時代から中世の修道会の働きを経て、現代に至るまで何千年も続いている。キャロルさんのお話の中で印象に残っているのは、その働きが「たて琴を演奏し、音楽を聞かせる」ことではなかったということだった。これは、祈りそのものだった。まず、病床にある人の息づかいを感じ取り、心や体や病状に寄り添いながら曲目を選んでいく。曲目は、主にケルトの子守唄、グレゴリオ聖歌、テゼの３種類に焦点を当てている。日本語詞によって物事を考えたり理解したりすることのないためだそうだ。驚きの連続だった。

キャロルさんの経験から、リラ・プレカリアによってガン末期の痛みが実際に和らいで、平安のうちに最後を迎えた患者もいたという。

たっぷり 2 時間の講演だったが、最後は、参加者全員が心から癒されて元気をもらった土曜の昼下がりだった。

「発達障がい児支援ボランティア養成講習」

① 4月13日(土) 竹田 契一　大阪教育大学名誉教授
② 5月11日(土) 松本 恵美子 福島神経科クリニック 発達障害相談室 室長

今年度は発達障がい児支援ボランティア養成講習として、4 月 13 日には大阪教育大学名誉教授、大阪医科大学ＬＤセンター顧問の　竹田契一先生、5 月 11 日には福島神経科クリニック発達相談室 室長、関西国際大学の松本恵美子先生よる講座を開催いたしました。

竹田契一先生からは「幼児期発達障がいの気づきと具体的なかかわり」という題名で講演をしていただきました。乳児期からのさまざまな機能の発達過程とその時々にみられる特徴的な行動について具体例を中心に、とてもわかりやすくお話をしていただきました。それぞれの年令における配慮すべき点や、家族内での父親、母親それぞれの役割分担、まずは子どもの特性をしっかりとらえ、子どもに寄り添いながら一人ひとりにあった対応が必要であるという内容の講演会でした。

松本恵美子先生からは、「幼児期の子どものサインと発達の特徴」という題名で講演をしていただきました。発達障がい児に特に多くみられる特徴について行動だけでなく、その行動を引き起こす背景についての理解がなければ、適切な対応は難しいというお話や一人ひとりの子どもの視点に立ち、自尊心を育てることの大切さや、できないことを一生懸命させよりも成功のうれしさをたくさんさせること、子ども自身の困り感を軽くできる配慮が必要という内容の講演会でした。

どちらの先生のお話も子どもの気持ちを大切に子どもに寄り添った支援が大切であるというとても心温まる、すぐにでも実践をしたくなるような内容の講演会でした。

③ 6月15日(土) 西岡 有香 大阪医科大学 LD センター
次号でご報告させていただきます。

総合研究所プログラムの予告

賀川記念館総合研究所では、イエス団理念委員会の協力のもと、より充実した内容で公開講演会を行って行く予定にしております。皆さま方のご参加をお待ちしております。

発達障がい児支援ボランティア養成講習 ④

7/6

講師 **石田 朋子** 児童発達支援くっく管理責任者

7月6日（土）13:00 - 15:00

すぐに実践の場を考えておられない方でも、どなたでも受講していただけます。

いのちと人権 （仮題）

9/9

9月（日程未定） 講師 **川口 有美子**

賀川豊彦が時代の制約があったとしても、いわゆる「優生思想」に基づく発言を繰り返したことは事実である。その「優生思想」により、いのちと人権が蔑ろにされてきた歴史から学び、今にも蔓延る「優生思想」を問いただす学びの時にする。

死に寄り添う （仮題）

10/5

10月5日(土)

ゴスペル音楽とお話

ゴスペルシンガー　**市岡 裕子**

ゴスペルシンガーである彼女は、元吉本新喜劇座長だった岡八郎さんを父親として持つ。16 歳の時母親を自殺で亡くし、弟さんの急死、父親のアルコール依存症・胃がん・脳挫傷など、人生の困難に直面しながらも、キリストに出会い、希望を失わずにゴスペル音楽を通して生きた証しを立て、多くの人を励ますミニストリーを行う。

クリスマスコンサート

12/7

12月7日(土) 声楽家 **青野 浩美**

声楽家を目指した日々、発病、宣告、気管切開・・・。「前例がないから無理だ」と言われた歌をあきらめず、自身の障がいと向き合い、闘い続けて見えてきたものとは。家族や支援者に支えられ、喉に穴の開いたやんちゃな歌姫が。声をとりもどし、歌い、語りだす。

いのちが いちばん 輝く日

準備中

映画上映とトークセッション

日程未定　講師 **市溝渕雅幸 施設関係者**

ホスピスケアのドキュメンタリー映画「いのちが　いちばん輝く日」を鑑賞をした後、監督と施設関係からのトークセッションを聴き、「いのち」について共に考える。

資料・書籍のご紹介

＜書籍＞「劇画死線を越えて韓国語版」

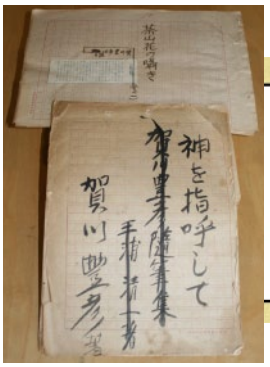
賀川豊彦を紹介する本は沢山発行されていますが、劇画は一番人気です。韓国でも読んで頂きたいので韓国で制作・出版しました。その韓国語の訳本が出来上がって来ました。完全に韓国の本として生まれました。オリジナルの日本語版と比べると、賀川豊彦についての解説が各章の間に入れられて分りやすい内容になっています。韓国からの見学者も沢山来られるので、これからはこの本が力強い味方になって、賀川豊彦への理解がより進むことになることを期待します。韓国語訳は甲東園教会の洪伊杓牧師がボランティアで行って頂きました、感謝です！

劇画死線を越えて　左：韓国語版　賀川記念館での販売価格 1,200 円（税込）
右：日本語版　定価　1,200 円（税込）

＜資料＞「賀川豊彦の随筆集」

賀川豊彦の随筆集がデーター化され、賀川記念館のホームページに掲載されました。パソコンで〔賀川記念館―研究所―資料室―賀川豊彦の著作〕の順番でクリックして頂きますと出て参ります。是非ご一読下さい。URL http://www.core100.net/lab/lab_siryo.html

この随筆集は、賀川豊彦が様々な機会に書留めたものを、御影西平野に有ります「東神戸教会」の初代牧師である三浦清一氏が編纂したものです。賀川豊彦が何を感じ、何を主張し、何を求めていたのか等をその文章から感じる事の出来る賀川豊彦研究者必見の内容です。賀川記念館の語り部の一人である大沼智得さんがほぼ 1 年の歳月をかけてワード化された労作です。感謝です。



左：賀川豊彦随筆集の原稿
上：電子化された賀川豊彦随筆集

＜書籍＞「ミナト神戸の宗教とコミュニティー」

『ミナト神戸には、古くから神道の神社や仏教の寺院が存在していたが、特に近代の開港以降、ミナト神戸は海外交易の重要な拠点として大きく発展する中で、キリスト教、イスラーム、ユダヤ教、ジャイナ教などの多彩な宗教施設が設立されて来た。本書は、このようなミナト神戸において多様な宗教が共存して来た歴史、あるいはその背景にある各コミュニティーが発展して来た力動的な姿を解明しようと試みた三年間の共同研究の成果である。』とこの書の編者である「関西学院大学キリスト教と文化研究センター」神田健次センター長が「はじめに」のところで述べておられる。

私は、この本を読んだ後すぐに中央区の宗教施設を車で 3 時間程まわった。それは驚きに値する。この狭い地域にこれだけの異なった宗教施設が仲良く共存している姿は恐らく世界に珍しいのではないかと感じた。皆さんも回ってみられるといい。多分感激されると思います。

この中の一つに、「もう一つのキリスト教」として賀川豊彦と賀川記念館が紹介されています。ここもいい。

＜書籍＞「協同組合論」

昨年 2012 年は、国連が定めた「国際協同組合年」でありました。国連はこの年に 3 つの事を国連総会で決めました。

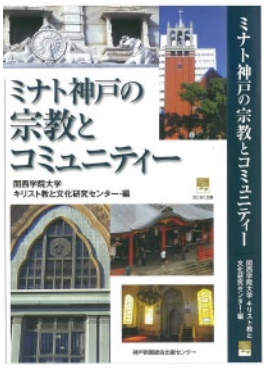
1. 世界で協同組合の事をもっと知ろう、知らせよう。
2. 協同組合を作ろう。
3. 各国政府や団体に、協同組合を作る動きを支援する事を要請する。

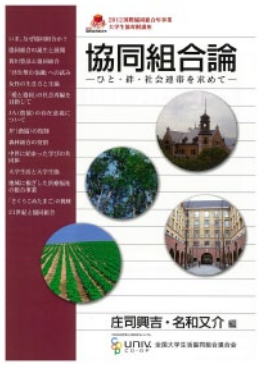
と宣言をしています。

日本でもこの機会に協同組合についてもっと知ろうという運動が生まれ各地で研究会や教育が盛んに行われました。その中の一つです。

大学生協の連合会が、協同組合の基本的な価値をもう一度みんなで考えようと寄付口座を企画し実行したものです。14 の異なった切り口からの協同組合についての意見がまとまっています。大変ユニークな本になりました。これからの協同組合の方向を示した内容になっています。

賀川記念館の賀川督明館長が第 3 講で「賀川豊彦と協同組合」と題して講義をしております。この話も興味の有るところです。ご一読をお願いします。





「ミナト神戸の宗教とコミュニティー」
発行所：神戸新聞総合出版センター
定価 1,700 円（税別）

「協同組合論」
発行元：全国大学生活協同組合連合会
発売元：(有) 連合出版　定価1,000 円（税別）

＜資料＞「太陽を射るもの」点字訳寄贈

昨年の「死線を越えて」に続いて、中巻である「太陽を射るもの」の点字訳本を寄贈頂きました。点訳をして頂いたのは、昨年に引き続き、コープ浜芦屋の組合員の『はまなす点字サークル』（写真：下）のみなさまです。メンバーは児島康子さま、高斎和子さま、田邉イミさま、谷脇清助さま、富久ちづ子さま、中村多美子さま、福井香代子さま、山子ひで子さま、山下路子さま、山崎嘉代子さまのみなさまです。昨年と同様一年がかりで点訳を完成して頂きました。本当に感謝です。

この機会に、広くこの点字本をご利用頂きますようにお願い致します。

賀川記念館の歩み

2013年

3月

07（木） 流通サービス（来館見学）
08（金） ナイトカフェ
09（土） 映画「カンタ！ティモール」上映会
13（水） 語り部の会
22（金） 打出浜コープ委員会（来館見学）
22（金）～23（土） ペパップフェアトレードカフェ
30（土） 協同総研にて講演（賀川館長）

4月

02（火） 語り部２期生研修会
06（土） 総合研究所講演会（小島祥美氏）
10（水） 松沢資料館杉浦氏来館
12（金） 宮城生協にて講演（賀川館長）ナイトカフェ
13（土） 総合研究所講演会（竹田契一氏）
19（金） はいず
20（土） 墓前集会
25（木） 全労済中日本新人研修（来館見学）
26（金） はいず

5月

07（火）パルシステム神奈川で講演（賀川館長）
08（水） 語り部研修会　コア100賀川例会（ならコープ）
関学神学部で講演（賀川館長）
10（金） はいず　ナイトカフェ
11（土） 総合研究所講演会（松本恵美子氏）
15（水） 住吉コープ委員会（見学）
芦屋ワイズメンズクラブで講演（西参事）
16（木） 神戸松陰女子学院で講演（賀川館長）
17（金） 語り部２期生研修　はいず
18（土） 奈良県協同連携シンポジウムで講演（賀川館長）
19（日） 香港TV取材
24（金） はいず
25（土） 総合研究所演奏会（キャロル・サック氏）
生活サポート生協・東京にて講演（賀川館長）
26（日） コミスタ講師グループ（来館見学）
27（月） 神戸松陰女子学院で講演（賀川館長）
31（金） 伊丹行基コープ委員会（来館見学）

記念館ミュージアム入場者数

3月	一般41名	団体 23名	行事 51名	合計115名
4月	一般40名	団体 19名	行事 101名	合計160名
5月	一般43名	団体 40名	行事 190名	合計273名

賀川記念館賛助会ご入会のお願い

賀川記念館は、賀川豊彦献身100年を記念して、2009年12月に新たに建て替えられました。今を生きる私たちの献身拠点として、2010年4月より活動を開始いたしました。「一人は万人のために、万人は一人のために」を標語とし、「みなさんとともに生きる社会」を目指して事業を進めてまいります。ぜひ、賀川記念館賛助会へご入会くださり、記念館の働きを支えてくださいますようお願い致します。

賛助会

賀川記念館の働きを支援することを目的としています。

賛助会会費

年額は下記の通りとし、一口以上、上限はありません。
個人：一口1,000円　団体：一口10,000円
会費は年度ごとの更新とします。

賛助会員入会と退会

「賀川記念館賛助会 入会申込書」に必要事項をご記入いただき、会費を納入ください。退会される場合は事務局までご連絡ください。

賛助会費の使途

賀川記念館の諸事業に活用いたします。

賛助会費の税控除

個人の方は、所得税にかかわる寄付金控除の対象になります。
団体の方は、法人税法により「損金算入」することができます。領収書をご希望の方はお申し出ください。

賛助会費のお振り込み方法

郵便局：01140ー8ー3721　社会福祉法人イエス団 賀川記念館
銀行：三井住友　三宮支店　普通　3253938

賀川記念館 賛助会から

いつも賀川記念館をお支えいただきましてありがとうございます。2013年3月1日から5月30日までの報告をさせていただきます。

賛助会費	383,000円
寄付金	591,031円
クリスマス献金	10,000円
真愛ホーム・友愛幼児園寄附	16,000円
総合計	1,000,031円

これからも皆様のお支えにより、さまざまな活動を行ってまいります。今後とも引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

休館のお知らせ

賀川記念館ミュージアムは、
8月14日（水）～8月16日（金）
休館いたします。
天国屋カフェは、
8月15日（木）～8月17日（土）
休業いたします。

天国屋ナイトカフェ =33弾=

2013年 7月12日（金）17:30～

ソプラノとピアノの演奏　19:00～
ドナ立木さん＆脇山幹士さん

（8月のナイトカフェはありません。）

神戸イエス団教会

教会では、毎週水曜日（18:30〜20:30）に、水曜祈祷会を行っています。聖書を読み、心を合わせて祈るというシンプルなプログラムです。聖書に興味がおありの方は、上内鏡子牧師までお問い合わせください。

電話は、０７８（２５１）４８７０

天国屋ナイトカフェ 年間スケジュール

2013 2013 2013 2013 2013

7 月 12 日 (fri)	ソプラノとピアノの演奏 ドナ立木さん＆脇山幹士さん
9 月 20 日 (fri)	ソプラノ＆クラリネット 香月更さん＆酒井恵美さん
10 月 18 日 (fri)	フラダンス
11 月 15 日 (fri)	アンデスのフォークミュージック
12 月 20 日 (fri)	ゴスペル KAMICOCO
1 月 17 日 (fri)	未　定
2 月 21 日 (fri)	未　定
3 月 28 日 (fri)	フルートの演奏

賀川記念館フェスティバル（バザー）！　今年もやります！

2010 年度より「賀川記念館バザー」が、「賀川記念館フェスティバル」として、新しい形で再スタートしました。

通算 47 回を数える今回も東北地方の震災支援として岩手県宮古市の障がい者施設で作られた製品の販売、のみの市、食べ物、飲み物コーナー、また恒例の楽しいステージ、子どもたちのためのゲームコーナーなど、盛りだくさんの内容です。どうぞお越しください。

少し先ですが、11 月 3 日（日・祝）10 時から 15 時開催。

寄贈品も 9 月より受け付けます。

どうぞよろしくお願いいいたします。

11/3

昨年度のフェスティバル（バザー）のみの市の様子

テナント募集のご案内

お問合せは　Tel：078 - 221 - 3627

物件種目：医療用貸店舗
最 寄 駅：阪神「春日野道」駅
賃貸条件：テナント D　271,950 円／月（税込）
敷金　賃料の 10 か月分
敷引　3 か月分
物件所在地：神戸市中央区吾妻通 5 丁目 2ー20
交　　通：阪神「春日野道」駅徒歩 8 分
阪急「春日野道」駅徒歩 10 分
建 物 名：社会福祉法人イエス団「賀川記念館」
構造・規模：RC 造 5 階建
使用部分面積：D 区画：約 25.9 坪
築 年 月：2009 年 11 月
管理費等：D 区画 27,195 円
駐 車 場：店舗南側に来客用駐車場有り
備　　考：内装工事は指定業者有
外部看板指定有（有償）

ボランティア vol. 102

賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL CENTER
社会福祉法人・学校法人 イエス団

Jesus band

発行日　2013 年 7 月 1 日
発行者　賀川督明
発行所　賀川記念館
〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通 5-2-20
tel：078-221-3627　　fax：078-221-0810
ホームページ　http://core100.net
お問い合わせ E-mail　office@core100.net